

## 組立設置・取扱説明書

### お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。

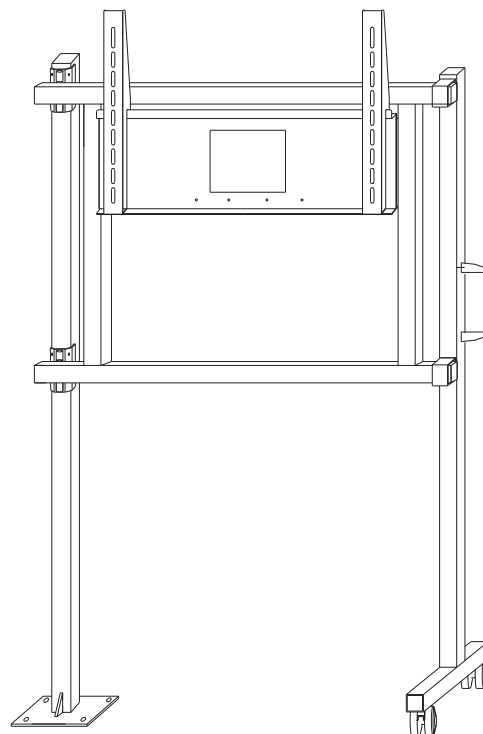
組み立てするにあたり、手袋・プラスドライバー・スパナ等を別途ご用意ください。

その他の準備品「別途ご用意いただくもの」をご参照ください。

### 施工業者様へ

お客様の安全のため据置場所の強度には、本機の荷重に耐えるよう十分ご注意ください。

- 設置後は、この説明書と添付の取扱説明書および保証書を使用者（運用責任者）へお渡しください。



## DT-100

### もくじ

安全上のご注意	2～4
仕様	5
部品の確認	3
オプション	4～8
別途ご用意いただくもの	9～11
ねじ締め付けトルクについて	7
組立要領	8～20
1. 右回転取付方法	8～12
2. 左回転取付方法	13～17
3. 共通取付方法	18～20
保証について	20

■ この組立設置説明書と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用後は保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

## 安全上のご注意

### 安全のために必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



#### 警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



#### 注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

## 警告



#### 本製品にぶら下がる、揺らす、もたれかかる、乗るなどしない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



#### ディスプレイの説明書と異なった設置条件では取り付けない

ディスプレイの故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



#### 水平でない場所、段差があるなど不安定な場所に設置しない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



#### 直射日光の当たる場所、及び高温多湿の場所で使用しない

変色や変形の原因となるだけでなく、搭載機器の故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



#### 屋外で使用しない

変色や変形の原因となるだけでなく、搭載機器の故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

## 警告



### 設置作業は必ず二人以上で行う

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### ご使用前は、接続部及びねじ部に緩みが無いか再度確認する

ねじが緩んだままでのご使用は、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

長期使用により設置場所の強度が不足すると、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 設置後は、接続部及びねじ部に緩みが無いか定期点検をする 緩んでいた場合は確実に締め付ける

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 修理が必要な場合は、直ちに使用をやめる

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。修理が必要な場合は、「テクニカルサポートセンター」まで連絡ください。



### 地震など強い揺れを感じた場合は本製品に近づかない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 地震など強い揺れを感じた場合は本製品の背面側には近づかない

強い揺れが発生した場合、本製品はキャスターロックのない背面側に移動する可能性がありますので背面側には近づかないでください。



### 本製品脚部周辺に段差となるようなケーブル、カーペット等の障害物を置かない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

## 警告



### **棚板にぶら下がったり、乗ったり、棚板の搭載質量以上の負荷をかけない**

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

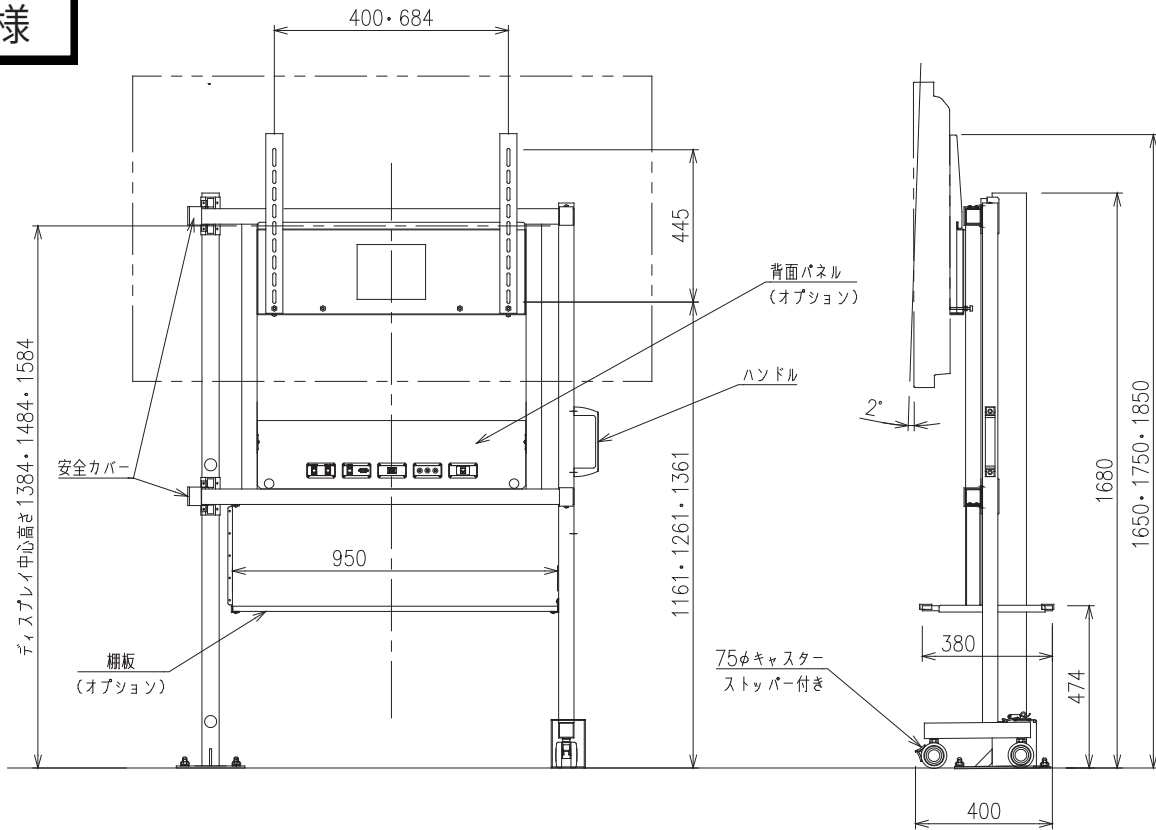


### **搭載質量以上のものを搭載しない**

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

# 仕様



型式	DT-100
塗装色	ホワイト(日塗工 N-93 相当)
本体質量	約 40 kg
搭載質量	ディスプレイ取付部：60kg 以下
対応ディスプレイ	50 型～70 型(W400×H200～445、W684×H200～445) ※
回転 (左右)	約 45°
ディスプレイ角度調整	+2°
高さ調整 (ディスプレイ中心)	3 段階、200mm (100mm ピッチ)
ハンドル高さ	774・953(2 段階)
キャスター	φ75 ストッパー付き×1、φ75 ストッパーなし×1
オプション	コントロールパネル (D-P01) 棚板 (D-T04) 4 口電源タップマグネット付き (D-D01)

※ 一部対出来ないディスプレイがあります。

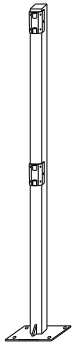


- ※ 搭載質量以上のものを搭載すると、機器の破損、怪我をする恐れがあります。搭載物の質量を確認のうえ搭載してください。
- ※ 不安定な場所に設置しないでください。
- ※ ディスプレイを取り付ける前に、ディスプレイ端子部が本製品と重ならないか御確認ください。重なっていると、配線が困難になりディスプレイのご使用ができなくなります。

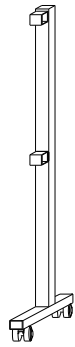
## 部品の確認

■ 組立の前に必ずご確認ください。

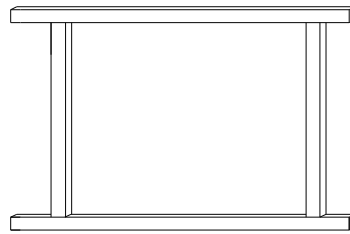
メインフレーム ×1



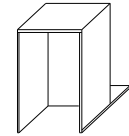
回転フレーム ×1



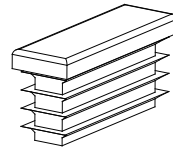
枠フレーム ×1



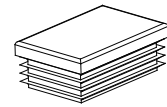
キャスターストッパー ×1



樹脂キャップ (大) ×1



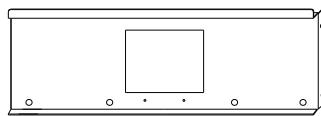
樹脂キャップ (小) ×5



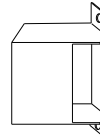
ディスプレイ取付金具 ×2



ブラケット ×1



安全カバー ×2



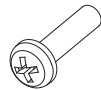
ハンドル ×1



ばね座金 A ×2  
(呼び径 12)



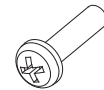
ねじ A (M5×15) ×10



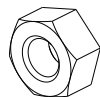
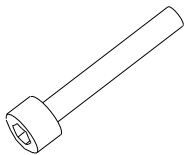
ねじ B (M6×15) ×6



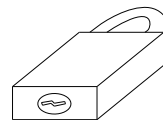
ねじ C (M4×10) ×10



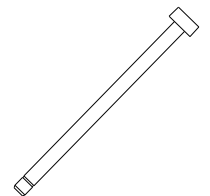
ねじ E (M6×65) ×2 六角ナット A (M12)×2  
六角ナット B (M6) ×2



南京錠 (鍵付き) ×1



ヒンジピン ×2



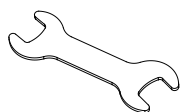
パチン錠 ×1



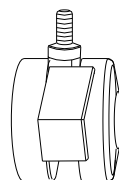
E型止め輪 ×2  
(呼び 9)



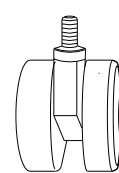
六角スパナ ×1



キャスターストッパー付き ×1



キャスターストッパー無し ×1

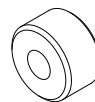
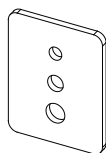
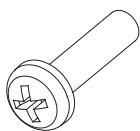


● ねじセット (ディスプレイ取付用)

ねじ 各4

補助板 ×4

スペーサー ×4  
(Φ21×12 孔Φ8)



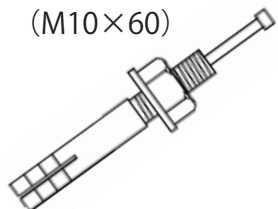
M6×20、M6×40、M8×25、M8×45

● ねじセット (アンカー固定用)

おねじアンカーボルト ×5  
(M10×60)

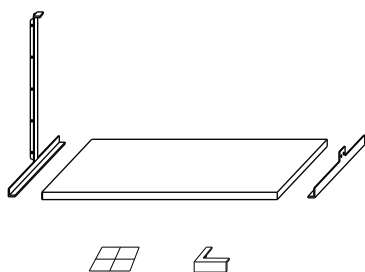
コンクリートねじ ×1  
(4×25)

ねじキャップ ×5

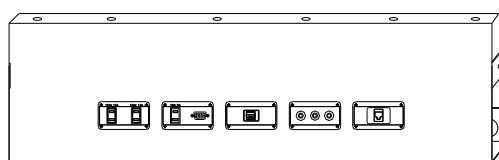


オプション

棚板 (D-T04)



コントロールパネル (D-P01)



4口電源タップマグネット付き (D-D01)



別途ご用意いただくもの

- プラスドライバー /  スパナ (10/19 番) /  カートンケース、毛布等の平らなクッション材
- 手袋 /  六角レンチセット /  ハンマー /  電動ドリル /  アンカーボルト用工具
- 下穴用ドリル (φ10.5/φ3.4)

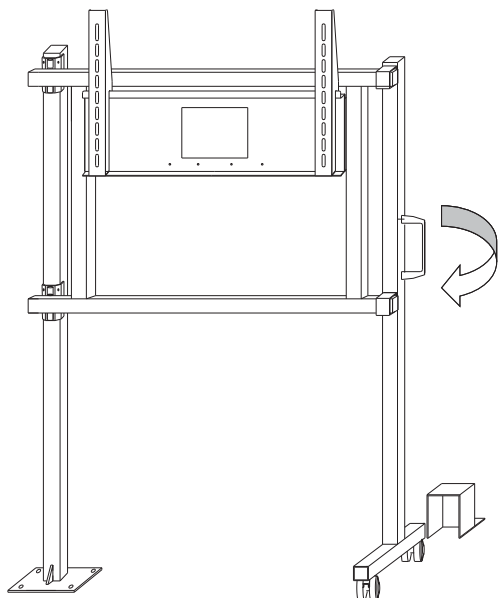
ねじ締付トルクについて

本体取付用ねじ		ディスプレイ取付用ねじ	
ねじ種類	締付トルク(N・m)	ねじ種類	締付トルク(N・m)
M4	1.5	M6	2.5
M5	2.8	M8	5.9
M6	4.5		

## 組立要領

〔はじめに〕 部品には取付箇所、取付方向がきまっていますので、  
図および説明文をよく確認の上、組み立ててください。

### 1. 右側回転取付方法



本製品は、使用環境に合わせて回転方向を左右どちらでも組み立てて使用できます。

向かって右側を回転させる場合は、この頁以降の手順で組み立ててください。

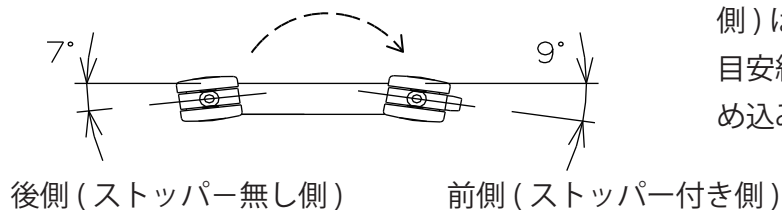
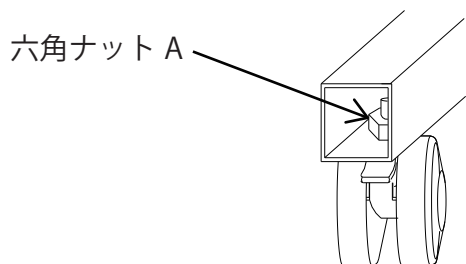
向かって左側を回転させる場合は、13頁以降の手順から組み立ててください。



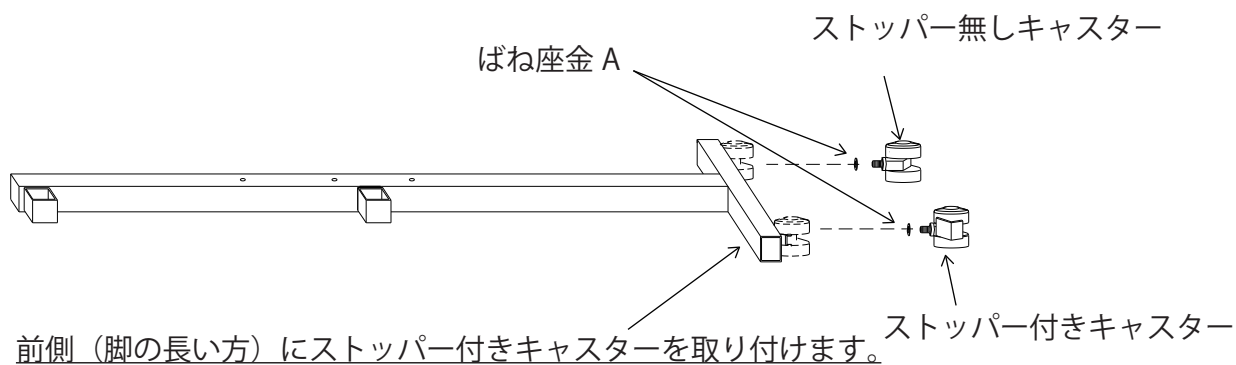
①～⑤までの組立は、床にカートンケースや毛布など柔らかいクッション材を敷き、製品を傷つけないよう注意して作業を行ってください。

#### ● ① キャスターの取り付け

※ 寝かせて作業



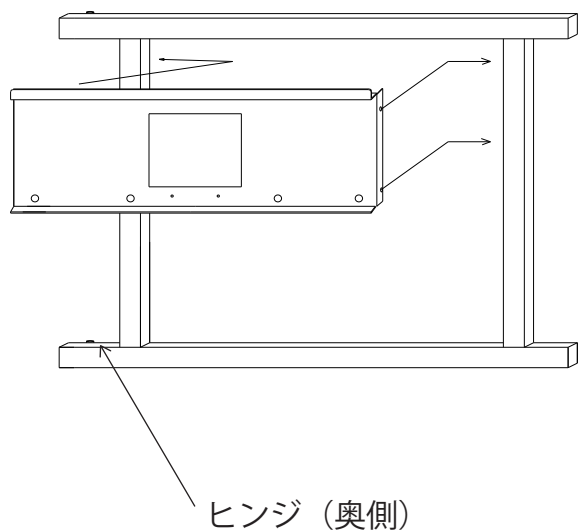
1. ストッパー付きキャスターを前側（脚の長い方）に、ばね座金 A とセットで、脚内部に六角ナットを取り付けます。
2. ストッパー無しのキャスターを後側（脚の短い方）に、ばね座金 A とセットで、脚内部に六角ナットを取り付けます。
3. キャスターの角度を、回転方向に前側（ストッパー側）は、目安約 9°、後側（ストッパー無し側）は、目安約 7°（下図イメージ）とし、六角ナットを締め込み固定してください。





## ● ② ブラケットの取り付け

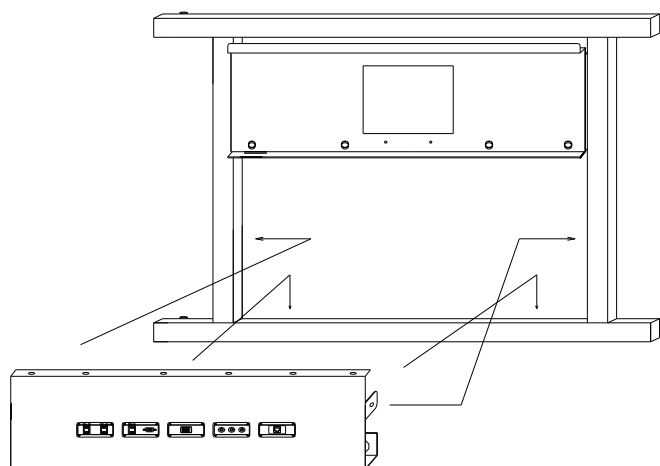
※ 寝かせて作業



1. 枠フレームを左奥にヒンジが位置するようにして、ブラケットをねじA4本で取り付けます。
2. ブラケットを取り付ける位置は、最上段から100mmピッチで3段階まで取り付けることができます。

## ● ③ コントロールパネルの取り付け (オプション)

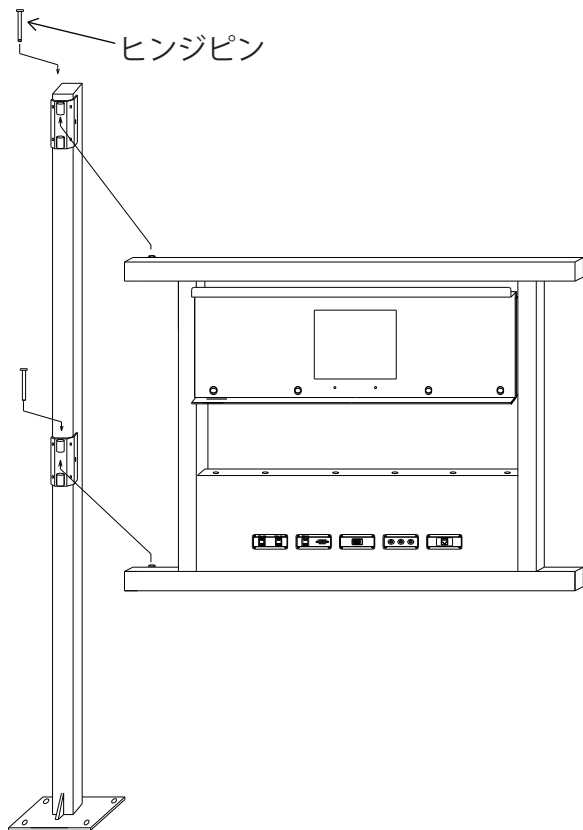
※ 寝かせて作業



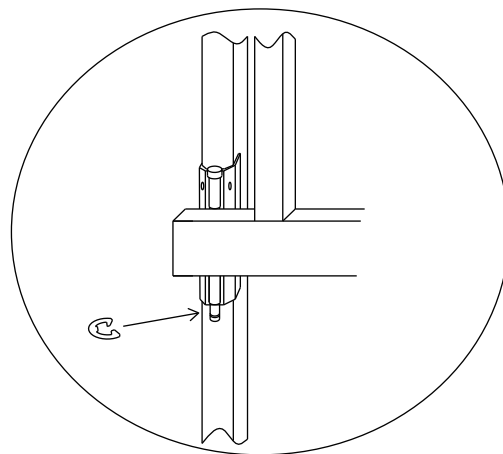
1. ②の位置関係のまま、コントロールパネルを枠フレームの最下段に、付属ねじ (M5)4本で取り付けます。

#### ● ④ メインフレームに枠フレームを取り付ける

※ 寝かせて作業

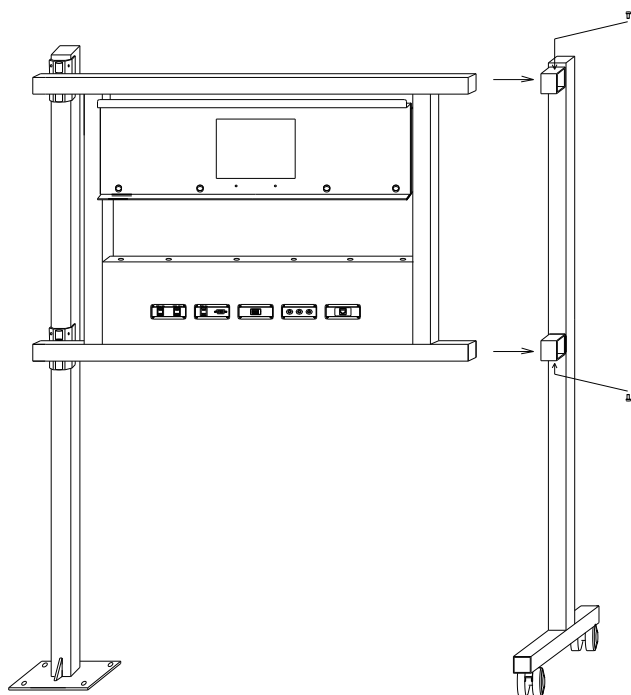


1. メインフレームをヒンジを上にして寝かせ、枠フレームをヒンジに合わせてながら、乗せかけます。
2. ヒンジピンをハンマーで、軸がズレないように軽くたたき込みます。
3. ヒンジピンに E 型止め輪 2 個を組み込みます。



#### ● ⑤ 回転フレームに枠フレームを取り付ける

※ 寝かせて作業



1. 回転フレームを脚の長い方を上にして寝かせ、枠フレームを、回転フレームの四角金具に差し込みます。
2. 回転フレームの四角金具に、上下からねじ B4 本で固定します。

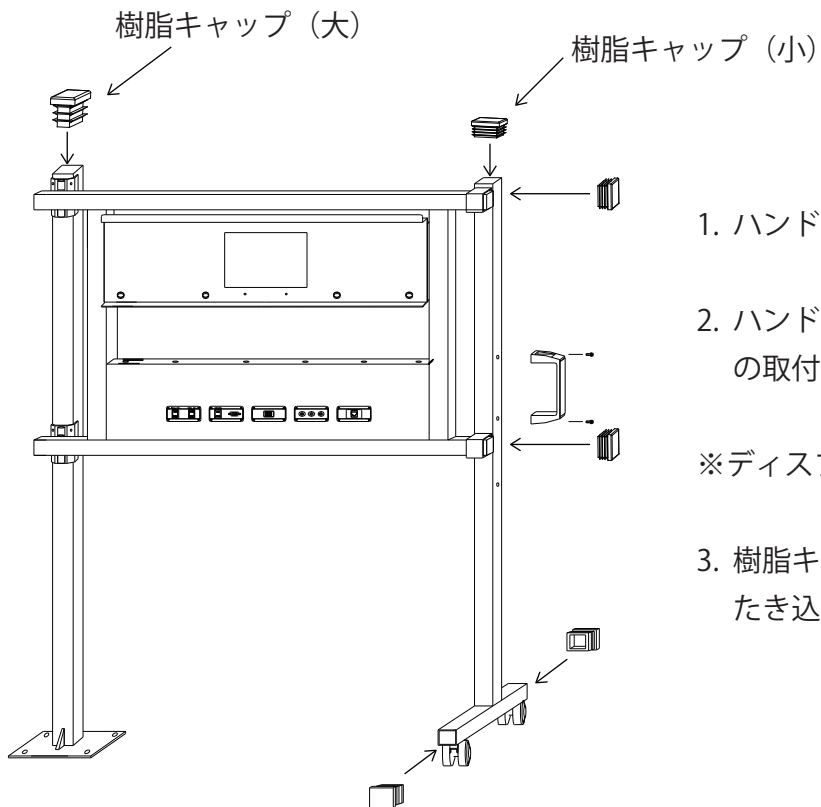
※前後を間違わないよう注意してください。

## ● ⑥ ハンドル・樹脂キャップを取り付ける



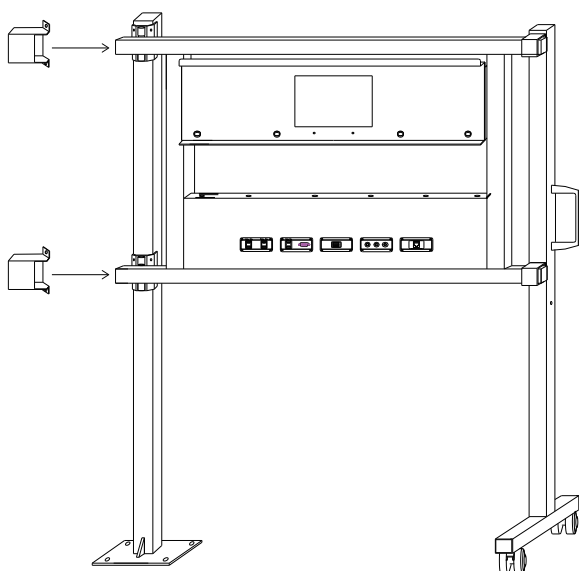
これ以降は製品を立ち上げて、組み立てます。

アンカー固定するまでは、転倒などしないよう十分注意して作業してください。



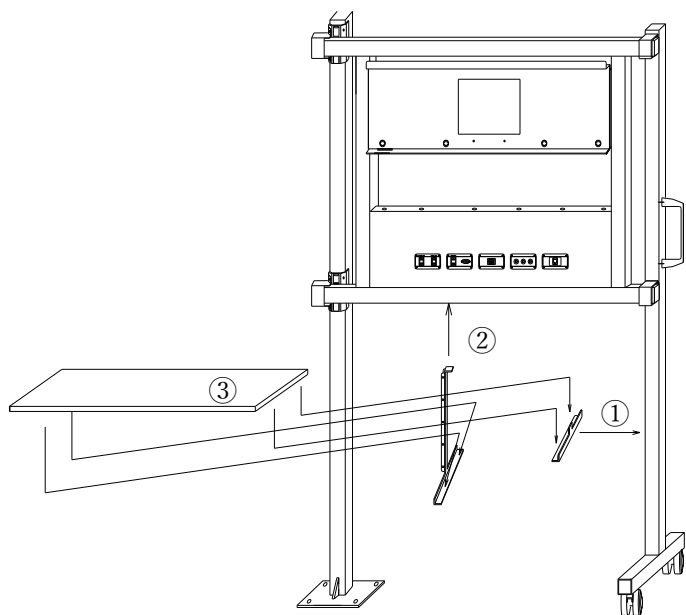
1. ハンドルをねじ A 2 本で取り付けます。
2. ハンドルの固定位置は 2 カ所あり、ディスプレイの取付状態により、上側か下側か決めてください。  
※ディスプレイ取り付け後でも、位置を変更できます。
3. 樹脂キャップをハンマーで当て布などして軽くたたき込みます。

## ● ⑦ 安全カバーを取り付ける

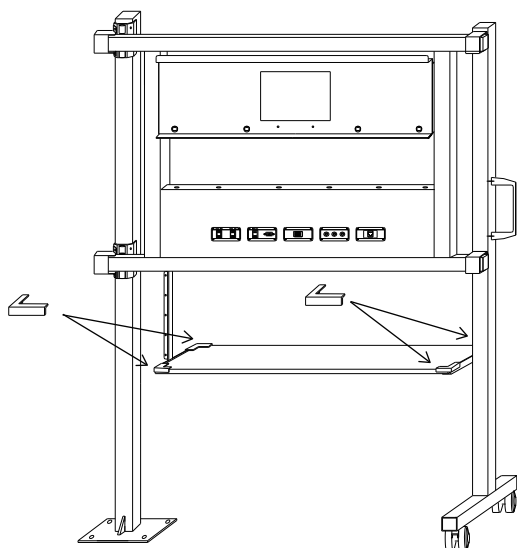


1. ヒンジ部に図のように安全カバーを 2 カ所、ねじ C6 本で取り付けます。

## ● ⑧ 棚板の取り付け (オプション)



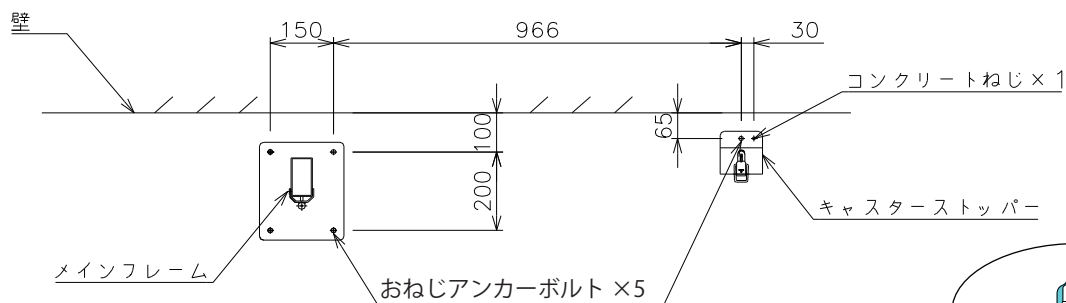
1. 金具 (大) を枠フレームの図の位置に付属ねじ A 2 本で固定します。
2. 金具 (小) を回転フレームの図の位置にねじ A 2 本で固定します。
3. 棚板を、金具 (大) と金具 (小) に乗せます。
4. 下方向から、付属ねじ C 4 本で固定します。



5. コーナー保護クッションに両面テープを貼り付け、4 隅に貼り付けます。

## ● ⑨ アンカー止め

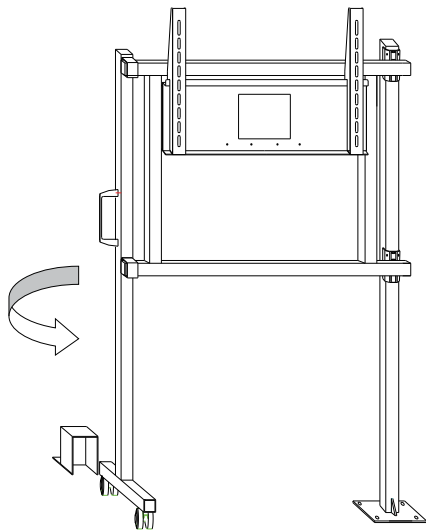
1. メインフレームとキャスターストッパーを固定するため、アンカーとコンクリートねじの下穴を下図に従い 6 カ所あけます。(アンカー： $\phi 10.5 \times$  深さ 40、コンクリートねじ： $\phi 3.4 \times 30$ )
2. 壁からの穴までの距離は参考値です。  
壁から設置する最適な位置を決め、穴をあけてアンカーを打ち込みます。
3. 本体を穴位置に合わせてアンカー用六角ナットとコンクリートねじで固定します。
4. アンカーボルトにねじキャップを被せます。



アンカー取付寸法



# 1. 左側回転取付方法



本製品は、使用環境に合わせて回転方向を左右どちらでも組み立てて使用できます。

向かって右側を回転させる場合は、この頁以降の手順で組み立ててください。

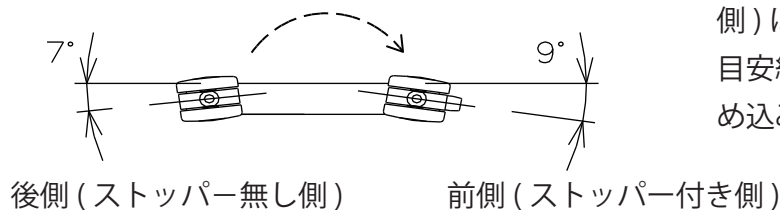
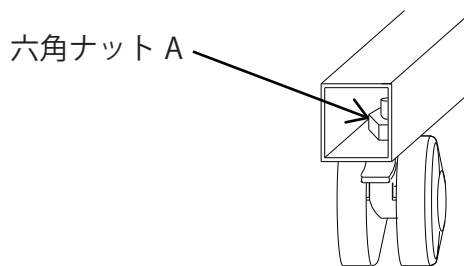
向かって左側を回転させる場合は、頁以降の手順から組み立ててください。



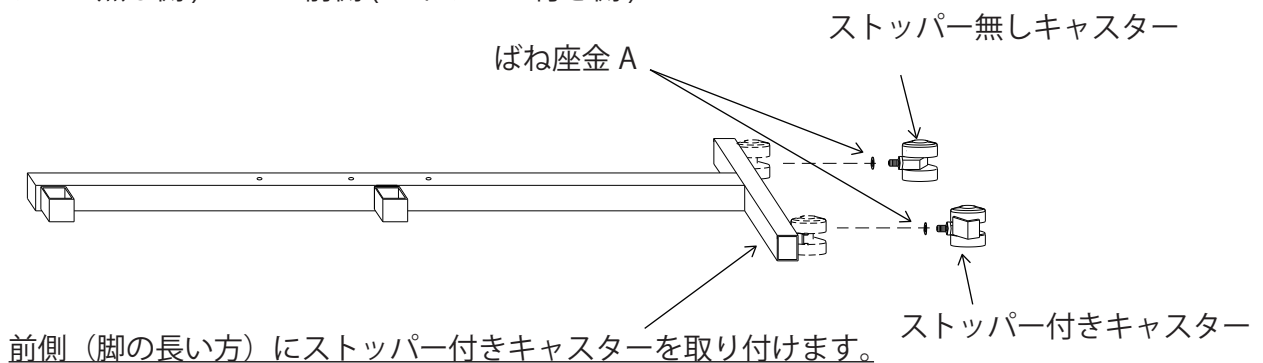
①～⑤までの組立は、床にカートンケースや毛布など柔らかいクッション材を敷き、製品を傷つけないよう注意して作業を行ってください。

## ● ① キャスターの取り付け

※ 寝かせて作業

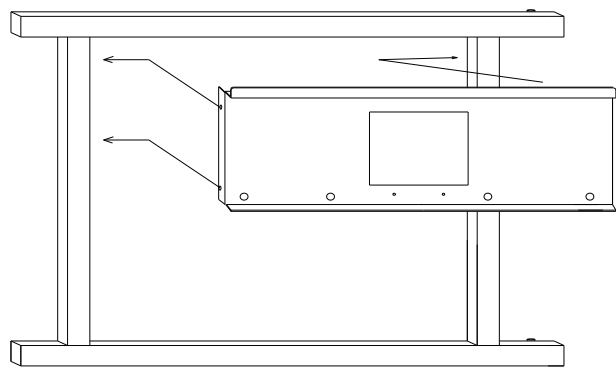


1. ストッパー付きキャスターを前側 (脚の長い方) に、バネ座金 A とセットで、脚内部に六角ナットを取り付けます。
2. ストッパー無しのキャスターを後側 (脚の短い方) に、バネ座金 A とセットで、脚内部に六角ナットを取り付けます。
3. キャスターの角度を、回転方向に前側 (ストッパー側) は、目安約 9°、後側 (ストッパー無し側) は、目安約 7° (下図イメージ) とし、六角ナットを締め込み固定してください。



## ● ② ブラケットの取り付け

※ 寝かせて作業

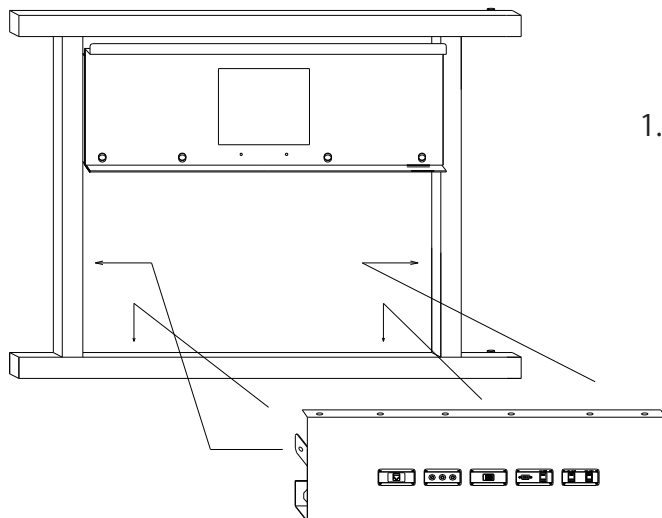


1. 枠フレームを右奥にヒンジが位置するようにして、ブラケットをねじA4本で取り付けます。
2. ブラケットを取り付ける位置は、最上段から100mmピッチで3段階まで取り付けることができます。

ヒンジ (奥側)

## ● ③ コントロールパネルの取り付け (オプション)

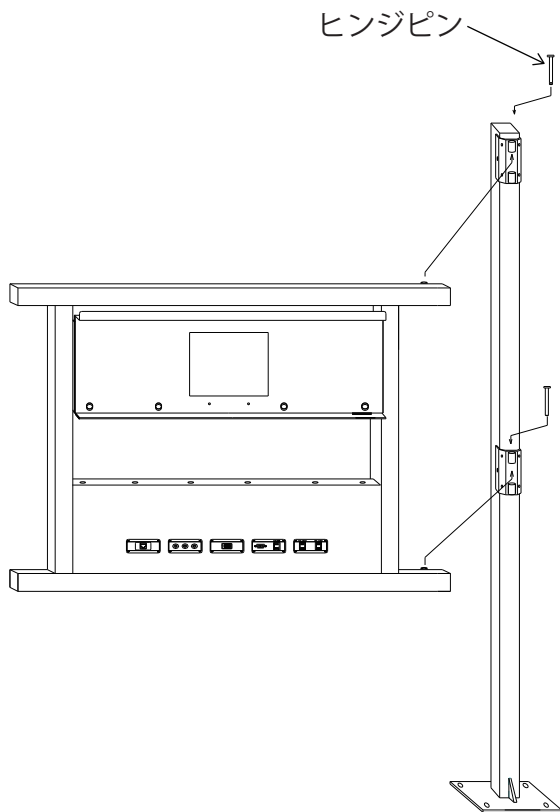
※ 寝かせて作業



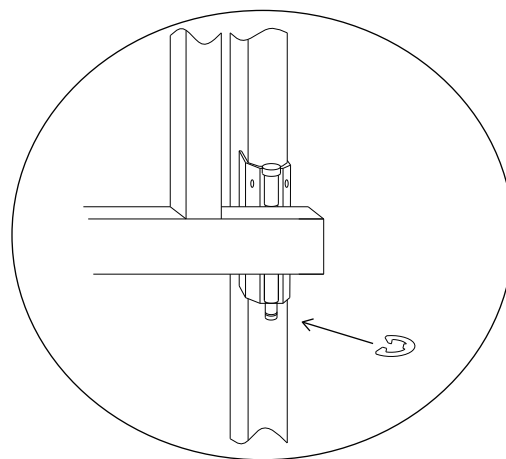
1. ②の位置関係のまま、コントロールパネルを枠フレームの最下段に、付属ねじ(M5)4本で取り付けます。

#### ● ④ メインフレームに枠フレームを取り付ける

※ 寝かせて作業

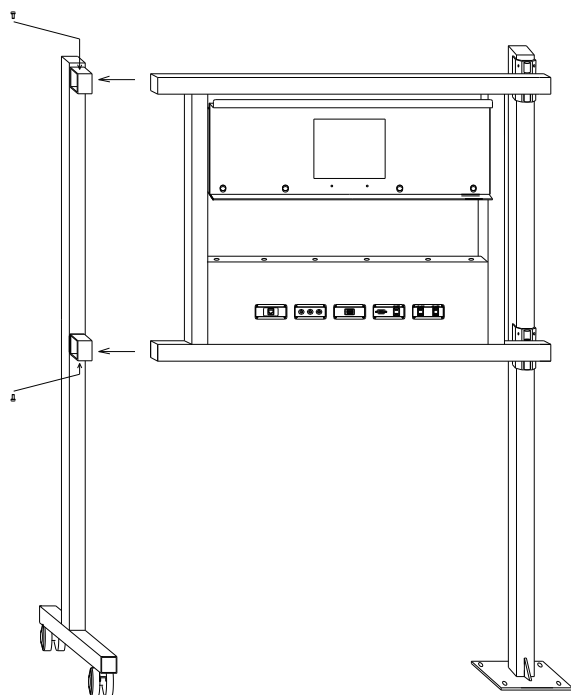


1. メインフレームをヒンジを上にして寝かせ、枠フレームをヒンジに合わせてながら、乗せかけます。
2. ヒンジピンをハンマーで、軸がズレないように軽くたたき込みます。
3. ヒンジピンに E 型止め輪 2 個を組み込みます。



#### ● ⑤ 回転フレームに枠フレームを取り付ける

※ 寝かせて作業



1. 回転フレームを脚の長い方を上にして寝かせ、枠フレームを、回転フレームの四角金具に差し込みます。
2. 回転フレームの四角金具に、上下からねじ B4 本で固定します。

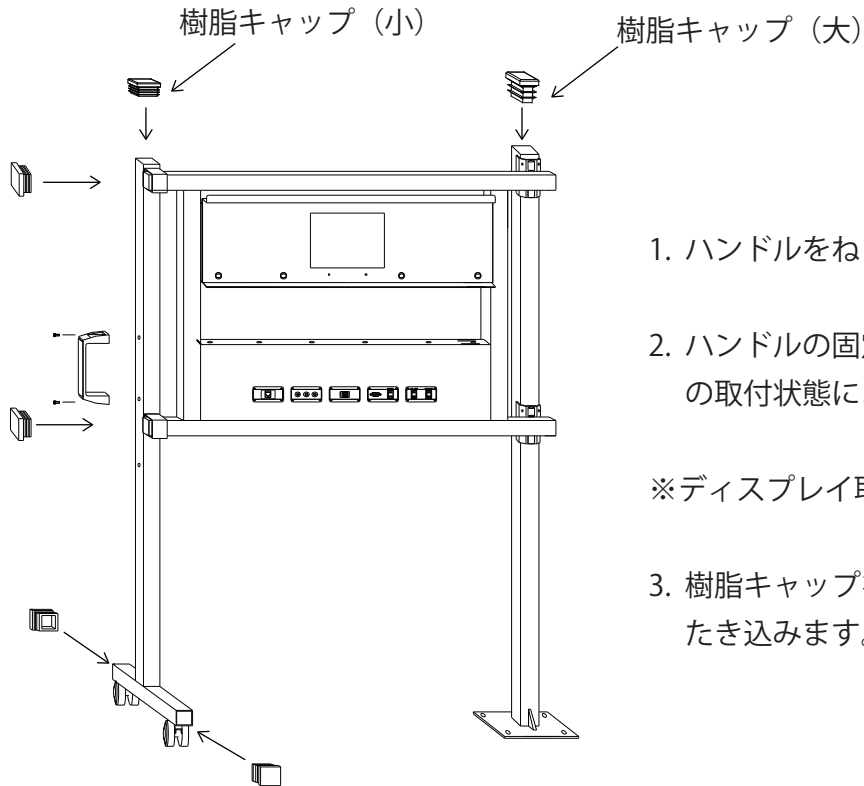
※前後を間違わないよう注意してください。

## ● ⑥ ハンドル・樹脂キャップを取り付ける



これ以降は製品を立ち上げて、組み立てます。

アンカー固定するまでは、転倒などしないよう十分注意して作業してください。

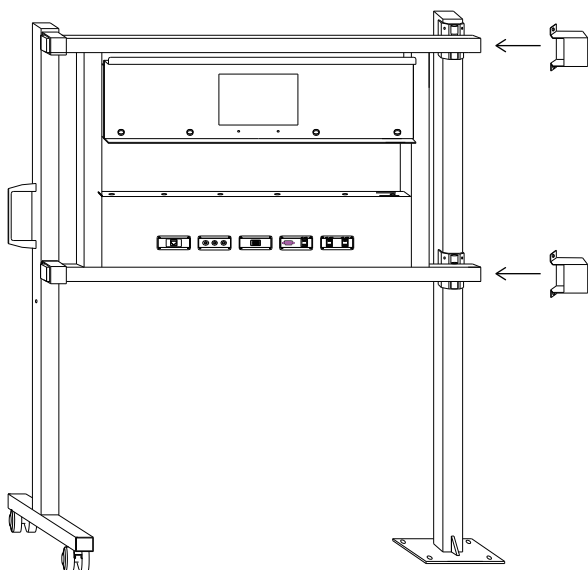


1. ハンドルをねじ A 2 本で取り付けます。
2. ハンドルの固定位置は 2 カ所あり、ディスプレイの取付状態により、上側か下側か決めてください。

※ディスプレイ取り付け後でも、位置を変更できます。

3. 樹脂キャップをハンマーで当て布などして軽くたたき込みます。

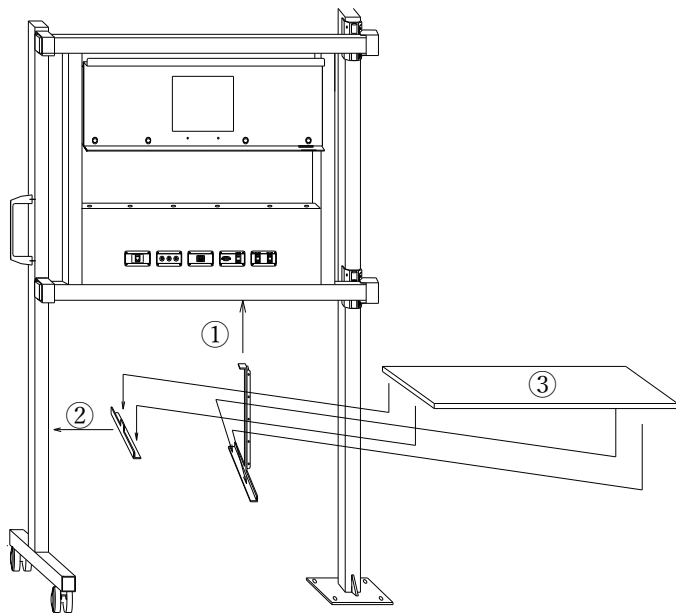
## ● ⑦ 安全カバーを取り付ける



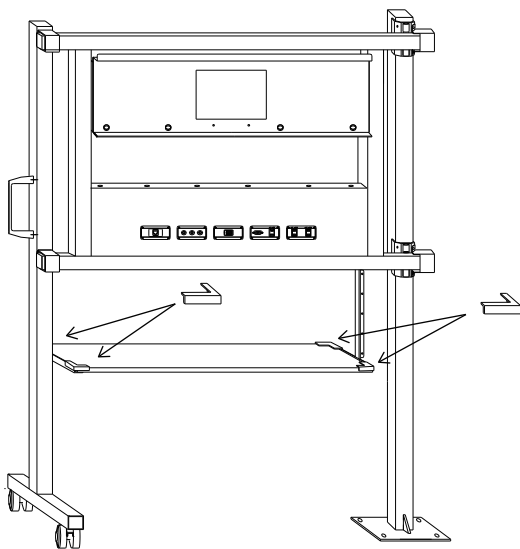
1. ヒンジ部に図のように安全カバーを 2 カ所、ねじ C6 本で取り付けます。



## ● ⑧ 棚板の取り付け (オプション)



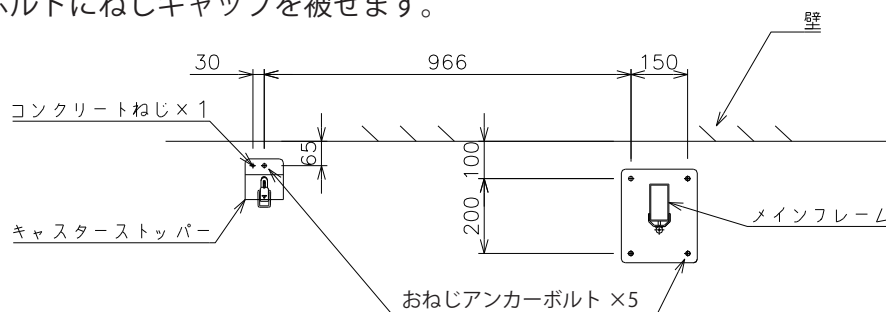
1. 金具 (大) を枠フレームの図の位置に付属ねじ A 2 本で固定します。
2. 金具 (小) を回転フレームの図の位置にねじ A 2 本で固定します。
3. 棚板を、金具 (大) と金具 (小) に乗せます。
4. 下方向から、付属ねじ C 4 本で固定します。



5. コーナー保護クッションに両面テープを貼り付け、4 隅に貼り付けます。

## ● ⑨ アンカー止め

1. メインフレームとキャスターストッパーを固定するため、アンカーとコンクリートねじの下穴を下図に従い 6 カ所あけます。(アンカー： $\phi 10.5 \times$  深さ 40、コンクリートねじ： $\phi 3.4 \times 30$ )
2. 壁からの穴までの距離は参考値です。  
壁から設置する最適な位置を決め、穴をあけてアンカーを打ち込みます。
3. 本体を穴位置に合わせてアンカー用六角ナットとコンクリートねじで固定します。
4. アンカーボルトにねじキャップを被せます。



アンカー取付寸法

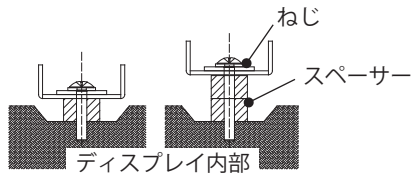


# 1. 共通取付方法

## 【はじめに】

ディスプレイが破損する恐れがありますので柔らかい毛布などを敷いて作業を行ってください。

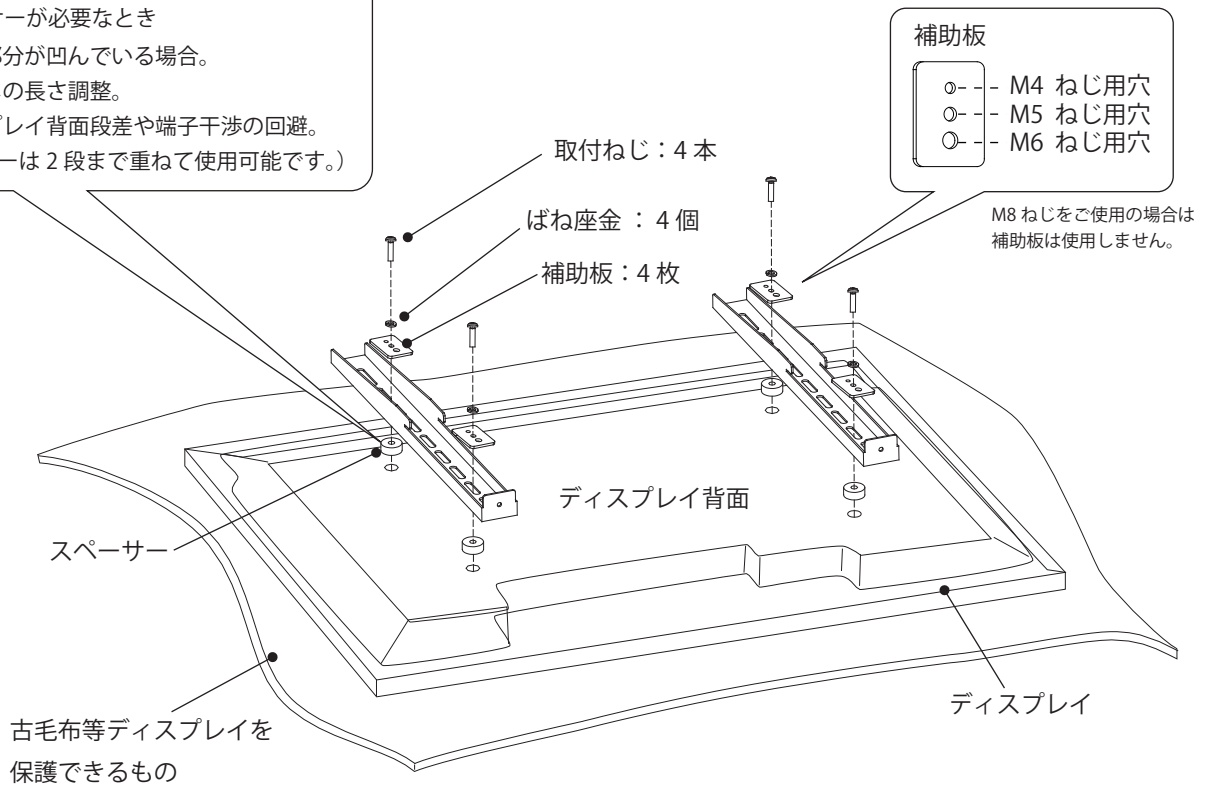
### ● ⑩ ディスプレイ取付金具の取り付け



#### ■ スペーサーが必要なとき

- ・ねじ穴部分が凹んでいる場合。
- ・取付ねじの長さ調整。
- ・ディスプレイ背面段差や端子干渉の回避。  
(スペーサーは2段まで重ねて使用可能です。)

1. 下図のようにディスプレイ背面を表にして寝かせます。
2. ねじセットからディスプレイにあったねじで固定します。  
M6以下のねじの場合、付属の補助板を使用してください。

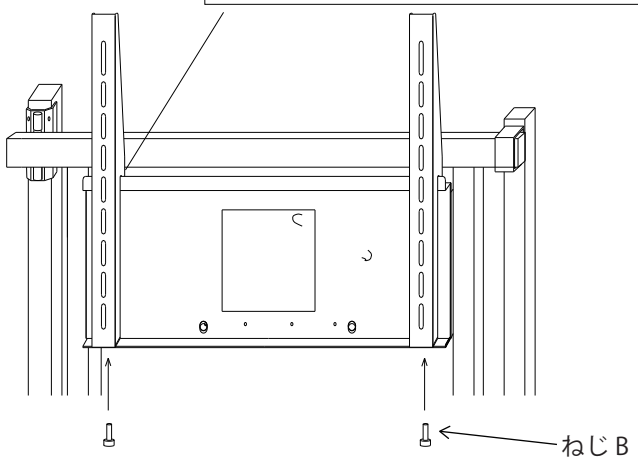


古毛布等ディスプレイを保護できるもの

- ・取付ねじが長すぎるとディスプレイ内部を破損する恐れがあります。
- ・取付ねじの掛りが浅い場合は使用しないでください。
- ・取付ねじセットに適切なサイズのねじが無い場合は別途ご用意ください。

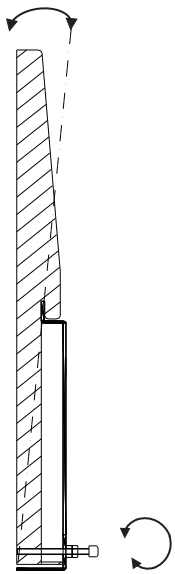
ブラケット上端に確実に引っかかっていることを確認してください。

1. ディスプレイ取付金具を取り付けたディスプレイを二人以上の作業員で支え、ブラケット上端にディスプレイ取付金具の溝を引っ掛けるようにして設置します。
2. ブラケット下側からディスプレイ取付金具をプラスドライバーを使用し、ねじB本にて固定します。

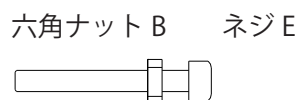


固定の際はディスプレイの下にもぐりこまないようにしてください。

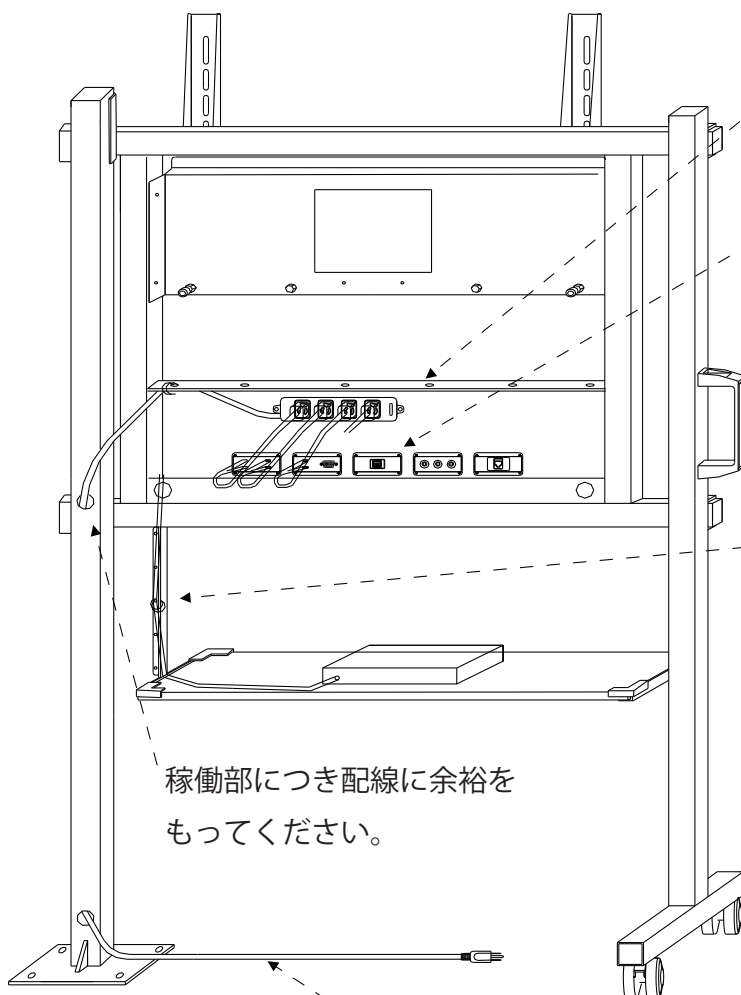
● ⑪ ディスプレイ角度調整



1. ディスプレイ取付金具の位置に合ったブラケットのネジ穴に、図のようにネジ E と六角ナットをセットします。
2. ネジ E を時計回りに締め込むと取付金具が上向きに角度が調整出来ます。
3. 角度を調整したら、六角ナット B をしっかり締め込んでください。



● ⑫ 配線処理例



ケーブル類は固定用穴を使って固定します。

コントロールパネル (オプション) 付属の各ケーブルを接続します。  
電源コード 3 本は、4 口電源タップマグネット付き (オプション) に差し込みます。残りの 1 口にディスプレイ電源コードを差し込みます。

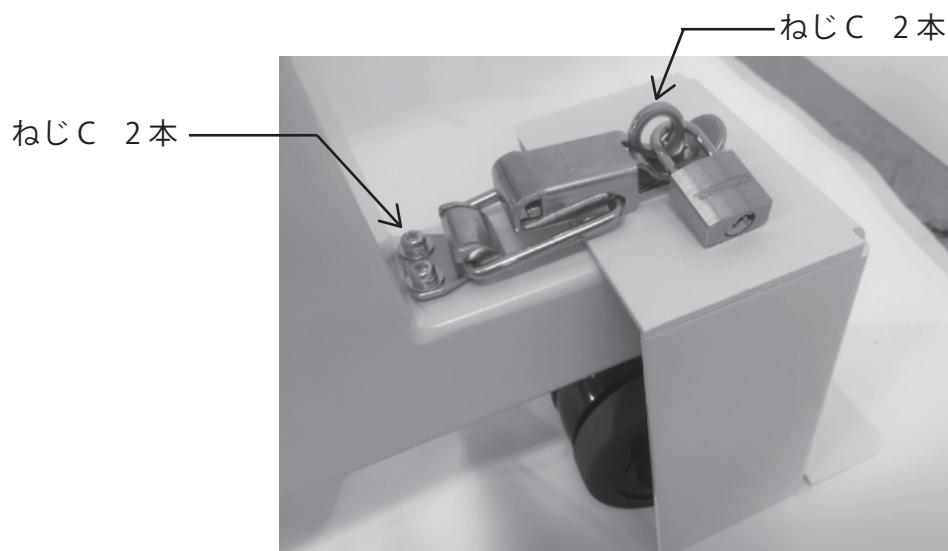
棚板 (オプション) の機器類からのケーブルは、金具の穴を使って固定します。

稼働部につき配線に余裕をもってください。

4 口電源タップマグネット付き (オプション) の電源コードは、メインフレーム内を通します。

### ● ⑬ 施錠

いたずら防止のため、キャストストッパーと回転フレームを南京錠で施錠し、回転しないようにできます。



製品保証内容は以下の QR コード及び、  
URL より WEB サイトにてご確認ください。



<https://www.os-prod.com/products/warranty/>

製造販売元 **株式会社 オーエスエム**

連絡先：株式会社オーエス テクニカルサポートセンター  
〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL：0120-465-040 FAX：0120-380-496

(受付時間：平日 9：00～17：50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail：info@os-worldwide.com